

第1回「はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ」

- 1 事業名 「はじめてチャレンジ！ドキドキキャンプ」
- 2 日時 令和4年10月16日（日）
- 3 趣 旨 幼少期からの体験活動の重要性にかんがみ、様々な体験活動にチャレンジさせ、その過程を褒めることで、自己肯定感や規範意識、コミュニケーション力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着を図ります。
- 4 対 象 福岡県内の幼稚園・保育所（園）の年長児（家庭保育含む。）
- 5 研修内容

9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:10	13:50	14:10	14:30
受付	はじまりの会 アイスブレイク	昼食づくり (ホットドック)	ドキドキ ハイキング!① ～裏山散策～	昼食	ドキドキ ハイキング!② ～裏山散策～	ふりかえり	おわりの会	

6 当日の様子

参加した年長児の子どもたちは、はじめのうちは緊張した面持ちで活動に参加していました。ボランティアの人たちは、子どもたちの緊張がほぐれるように興味のある話を積極的にしていました。そして、自己紹介ゲームや歌遊びを一緒に行うと、段々と子どもたちも意欲的に参加できるようになっていきました。



少し緊張した様子でしたが、徐々に打ち解けていきました。

その後、場所をあじさい炊飯場に移し、ホットドッグづくりを行いました。ホットドッグは切れ目の入ったパンにソーセージや野菜などを入れていき、牛乳パックの中に詰め、燃やしました。子どもたちはボランティアの手を借りながら一生懸命作っていました。



ホットドッグづくりを終え、裏山へ木の実を集めに行きました。裏山の道中では、傾斜のきつい所もありましたが、子どもたちは元気に登っていました。その後、裏山の山頂に着き、木の実を集めるゲームを行いました。子どもたちは木々や葉っぱをかき分けながら、落ちていたどんぐりや松ぼっくりを熱心に探し出していました。



少し暑かったですが、楽しくハイキングを行いました。

木の実集めを終えた後、山頂で手作りのホットドッグを食べました。自分で作ったホットドッグを前にして、参加者は満足そうに食事を行っていました。食事をした後には、下山し、講堂にて終わりの会を行い、保護者に引き渡しを行いました。その際、活動を共にしたボランティアが子どもたちの頑張りや一日の様子を伝えると、保護者の方の多くが感動されていました。



○参加者の声（保護者アンケートから）

- ・全く知らない子達ばかりの中に初めて一人で参加するイベントだったので、少し不安もありましたが、とても楽しかった様で、行かせてもらえていい経験になったと思います。
- ・大きなどんぐりを沢山拾ってきて兄弟に自慢していました！途中からは足が痛くなってしまったようですがみなさんが色々声をかけて下さったようで諦める事なく最後まで歩いて、山の上で美味しくホットドッグを食べられたみたいです。
- ・担当のお姉さんがたくさん話しかけてくれ、優しく接して頂いて、とても楽しい思い出になったようです。一人で参加することに、親としては不安がありましたが、参加出来て良かったです。本当にありがとうございました。

○全体を通して

事業後、子どもたちから「楽しかった」「ホットドックおいしかった」「どんぐりたくさん集めたよ」などの声が多く聞かれ、子どもたちにとって達成感を味わえる活動になった様子でした。

昨年よりも人数を増やしての活動でしたが、高校生ボランティアが中心となり、子どもたちのサポートを積極的に行ってくれました。怪我や体調不良者も特になく、無事に事業を終ることができました。